

平成31年度 事業報告書（モデル的事業）

団体名：久々野まちづくり運営委員会

1. モデル的事業名	魅力情報発信事業		
2. 事業名	魅力・お宝発信事業		
3. 事業期間	H30～R2（3年）	4. 事業進捗率	60%
4. 目的	<p>(1) 情報発信事業 久々野に魅力を感じるファンを作り、久々野に住みたいと思う人を増やすため、コミュニティービジネスの創出および移住者を久々野へ誘う仕組みを構築する。</p> <p>[地域課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久々野の魅力を外部に発信する仕組みが乏しい ・久々野地域の情報が得にくい ・まちづくりの事業に若い人が興味を持たない <p>(2) お宝マップ作成事業 身近な「まちの魅力」探しを行い、まちの長所を伸ばすことで住民が住みたい、子どもたちが将来久々野に残りたいと思える魅力あるまちづくりを行う。</p> <p>[地域課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都会へ憧れ、若い人が地元に残らない（都会への流出） ・地元に魅力を感じていない ・お宝（地域資源）の埋没 		
5. 事業実績	<p>【1年目・平成30年度】</p> <p>(1) 情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久々野地域の若者（商工会青年部、農業青年生産者など）を主体とした実行委員会を設立。 ・多摩大学との交流事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ①久々野の歴史、文化、自然、特産などの情報発信の必要性、効果的方法などについてワークショップの開催。 ②多摩大学の指導者及び学生を招き、外部の人の目に久々野地域がどう映るのか、何が久々野の魅力でどう発信すればいいのかの実践講座を開催。 ③久々野中学校2年生とのワークショップを開催。 ・地域住民が発信者となる自発的情報発信の仕組みを構築し実践。 <p>(2) お宝マップ作成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H10年に作成した「久々野のお宝マップ」の検証。 ・町内会、子ども会、学校関係者などをメンバーとする実行委員会を設立 ・まちづくりスポットから講師を招き、事業の進め方や有効利用についての意見交換や久々野の地域特性についてワークショップを開催。 <p>【2年目・平成31年度】</p> <p>(1) 情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久々野地域の若者（商工会青年部、農業青年生産者など）を主体とした実行委員会を開催。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・久々野の歴史、文化、自然、特産などの情報発信の必要性、効果的方法などについてワークショップの開催。 ・多摩大学の指導者及び学生を招き、外部の人の目に久々野がどう映るのか、何が久々野の魅力でどう発信すればいいのかの実践講座を開催。久々野中学校とワークショップを行った。 ・地域住民が発信者となる自発的情報発信の仕組みを構築し実践。 ・SNS フォトコンテストを実施し、より多くの方に久々野の情報を発信する工夫を実践。 ・SNS 講座を開催。Google マップを用いることで、より効果的な情報発信ができることを学べた。 <p>(2)お宝マップ作成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H10年に作成した「久々野のお宝マップ」の検証。 ・町内会、子ども会、学校関係者などをメンバーとする実行委員会を開催。 ・小学校6年生と久々野のお宝めぐりを実施。子どもなりの自慢マップを作成。 ・お宝マップ作成のため、イラストを数点作成。できあがりイメージを膨らませることができた。
6. 事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信を行う仕組みを実行委員で構築することで、より広範囲で多くの情報を今まで以上に発信できた。 ・実行委員が情報発信することで、魅力が委員同士で共有された。 ・地域資源を発掘し、郷土愛の醸成を意識。地域の愛着が増した。 ・実行委員の主体が若者で、建設的な意見が出され、若者がまちづくりに興味を抱くようになった。 ・インスタフォトコンにより、今まで気づかなかった地域資源を発掘できた。 ・地域資源が貴重なお宝と気づくことで特産品化へ意識を向け始めた。 ・久々野地域からよそへ就職、修学した仲間からも久々野の魅力が発信された。 ・小学6年生が作った自慢マップに大人が共感することができた。
7. 今後の見通し・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに多くの情報発信を行うため実行委員だけでなく地域を巻き込む工夫が必要。 ・より地域資源の発掘が必要。若い実行委員が中心となり、さらに久々野の魅力を掘り起こす。 ・その地域の子どもたち、大人がともに実際に現地を歩きお宝を見て回り、郷土の誇りを感じる。 ・新お宝マップを冊子化する。

事業実施内容

(1) 情報発信事業

月 日	項 目	事業内容 (対象・方法等)	摘 要
6月21日	実行委員会	実行委員会 インスタフォトコン打合せ	参加者：17名
6月30日 ～7月2日	多摩大学	多摩大学等学生が久々野地内の企業2社を視察	参加者：多摩大他 21名
8月8日	りんごの朴葉みそ PR	多摩大学学生が提案した商品を市長に報告し、情報発信につなげた。	道の駅なぎさ 2名 久々野 2名
8月23日	実行委員会	実行委員会 インスタフォトコン進捗状況確認	参加者：8名
9月6日	実行委員会	多摩大受入れ打合せ	多摩大 2名 参加者：4名
10月20日 ～10月22日	多摩大学交流	多摩大学学生と久々野地内を視察 ホームステイ交流 SNS講座と実践 久々野中学校とワークショップ	参加者 多摩大 19名 久々野 10名 ホームステイ 7家 久々野中 108名
11月9日 ～11月10日	多摩大学学園祭参加	久々野での実践報告	参加者：2名
12月9日	SNS 講座	ゼロから始める SNS 講座 講師 坂田誠 (はちえん代表)	参加者：18名
2月13日	実行委員会	インスタフォトコン審査、次年度事業計画	参加者：17名

(2) お宝マップ作成事業

月 日	項 目	事業内容 (対象・方法等)	摘 要
7月17日	実行委員会	お宝マップ作成の進め方の確認	参加者：12名
7月～12月	お宝リストアップ	お宝のリスト作成	事務局
1月20日	お宝めぐり	久々野小学校 6年生と久々野全域のお宝めぐり	小学生 23名 地域住民：7名
2月20日	お宝自慢マップ作成	小学校 6年生が久々野の自慢マップを作成	
3月18日	実行委員会	事業反省と次年度事業計画 お宝マップイラストイメージ確認	参加者：6名

平成31年度 久々野まちづくり運営委員会 収支決算書 (モデル的事業)
魅力・お宝発信事業

【収 入】

単位：円

区 分	当初予算	補正額	変更後予算額	決算額	差引額	内 訳
市補助金	1,000,000	△160,000	840,000	840,000	0	協働のまちづくり支援金 (モデル的事業)
自主財源	0	41,862	41,862	48,082	6,220	
合 計	1,000,000	△118,138	881,862	888,082	6,220	

【支 出】

単位：円

事業・科目	当 初		補正額		変更後		決算額		差引額	
	予算額	支援金充当額		支援金充当額	予算額	支援金充当額		支援金充当額		支援金充当額
情報発信	676,000	676,000	△96,078	△137,940	579,922	538,060	579,922	531,840	0	△6,220
人件費	108,000	108,000	△6,000	△6,000	102,000	102,000	102,000	102,000	0	0
報償費	30,000	30,000	69,500	69,500	99,500	99,500	99,500	99,500	0	0
旅費	180,000	180,000	△159,000	△159,000	21,000	21,000	21,000	21,000	0	0
需用費	73,000	73,000	52,950	11,088	125,950	84,088	125,950	77,868	0	△6,220
材料費	20,000	20,000	△20,000	△20,000	0	0	0	0	0	0
役務費	20,000	20,000	49,072	49,072	69,072	69,072	69,072	69,072	0	0
使用料及び賃借料	245,000	245,000	△82,600	△82,600	162,400	162,400	162,400	162,400	0	0
お宝マップ	324,000	324,000	△22,060	△22,060	301,940	301,940	308,160	308,160	6,220	6,220
人件費	54,000	54,000	0	0	54,000	54,000	60,000	60,000	6,000	6,000
報償費	40,000	40,000	207,500	207,500	247,500	247,500	247,500	247,500	0	0
旅費	10,000	10,000	△10,000	△10,000	0	0	0	0	0	0
需用費	10,000	10,000	△10,000	△10,000	0	0	0	0	0	0
役務費	10,000	10,000	△9,560	△9,560	440	440	660	660	220	220
使用料及び賃借料	200,000	200,000	△200,000	△200,000	0	0	0	0	0	0
合 計	1,000,000	1,000,000	△118,138	△160,000	881,862	840,000	888,082	840,000	6,220	0

平成31年度 久々野まちづくり運営委員会 支出内訳書 (モデル的事業)

単位：円

事業・科目	決算額	内 訳	
		支援金充当額	
情報発信	579,922	531,840	
人件費	102,000	102,000	
委員報酬	102,000	102,000	実行委員報酬 (6,000円*17名)
報償費	99,500	99,500	
謝礼	72,000	72,000	多摩大ホームステイ先謝礼
景品代	27,500	27,500	インスタフォトコンテスト賞品代
旅費	21,000	21,000	
普通旅費	21,000	21,000	多摩大出張旅費
需用費	125,950	77,868	
印刷製本費	125,950	77,868	チラシ、ポスター印刷費
役務費	69,072	69,072	
通信運搬費	67,876	67,876	SNS サービス利用料、インスタフォトコンテスト賞品送料
手数料	1,196	1,196	振込手数料
使用料及び賃借料	162,400	162,400	
賃借料	162,400	162,400	バス借上料
お宝マップ	308,160	308,160	
人件費	60,000	60,000	
委員報酬	60,000	60,000	実行委員報酬 (6,000円*10名)
報償費	247,500	247,500	
報酬	247,500	247,500	イラストデザイン料
役務費	660	660	
手数料	660	660	
合 計	888,082	840,000	